

## 大豆の収量は初期成育で決まります!!

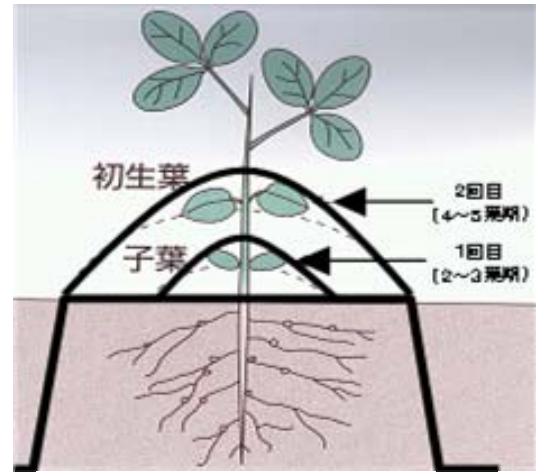
### 早期の培土で根圏と地上部生育量の増大を図りましょう!!

～大麦跡大豆について～

- ・ 晴れ間をみてなるべく早く播種しましょう。
- ・ 播種量は 10a 当たり 5,6～6.2kg とし、苗立本数 (16,000～18,000 本/10a 程度) の確保に努めましょう。

#### 1. 適期培土 ～降雨の晴れ間を効果的に活用～

- 1 回目 2～3 葉期に子葉が埋まる程度  
 (播種後 20 日頃)
- 2 回目 4～5 葉期に初生葉が埋まる程度  
 (播種後 30 日頃)



#### 培土の注意点

- ① 土が乾いている時に行うと増収効果が高い
- ② 培土後は必ず溝を連結



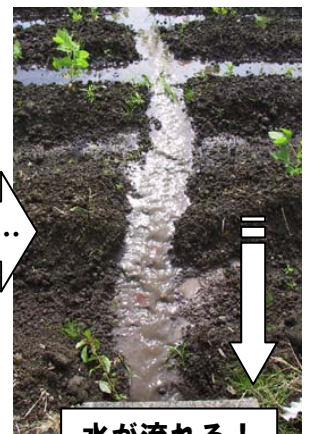
排水溝の手直しをしていないと、畦間に水が溜まる！  
 溝を連結して、圃場の排水性を高めましょう！

そこで…



溝の手直し！

すると…



水が流れる！

#### 2. 雑草防除

薬剤名	適用雑草	使用時期	10a あたり使用量	総使用回数	使用方法	注意事項
ポルトフロアブル	イネ科雑草のみ (3～8 葉期)	収穫30日前まで (7月末頃まで)	薬剤 200～300ml (水 100L)	1回	雑草茎葉 散布	散布ノズルは噴霧状になるものを使用する。
バスタ液剤 (畦間散布)	すべての畑地 1年生雑草	収穫28日前まで (8月末頃まで)	薬剤 300～500ml (水 100～150L)	3回以内	雑草茎葉 散布	畦間処理を行い大豆にかからないよう注意する。
ロックス水和剤 (畦間・株間散布)	1年生雑草	本葉3葉期以降 雑草生育期 草丈 (15 cm 以下) 但し、収穫 30 日前まで	薬剤 100～200 g (水 70～150L)	1回	雑草茎葉 兼 土壌散布	畦間・株間処理に使用する場合、専用ノズルを使用する。また噴口はできるだけ低くし、本葉にかからないように散布する。

※ その他の除草剤については、J A いなば 営農 指導 員 に ご 相 談 ぐ だ さ い。  
 ※ 農薬は使用前に薬剤と使用上の注意を確認し正しく使いましょう。